

受賞者：石永 博之
A-Labo あらかわモノづくりラボ



発明★特許パーは個人や小さい企業にも翼を授けます。荒川のモノづくりの技術者の皆さんを
発明★特許にて応援し、あらかモノづくり文化を活性化させる事業です。
荒川区には優秀な技術者が多く、その技術の特許にすれば大きく飛躍できます。特許を取ると
様々なメリットが得られますが、個人や小企業の方は特許のハードルが高いと感じ、多くの発明
が埋もれています。A-Laboloは、企業で培った特許ノウハウを発明発掘・特許権化・特許活
用により、低負担で特許出願し成果が出るまで支援します。モノづくりの個人や小企業の皆さん
に応援し、発明★モノづくり文化を世界に発信します。

A portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit, white shirt, and a red patterned tie. He is seated at a desk, looking directly at the camera. To his left is a lit candle in a red holder. He is holding a pen over a piece of paper on the desk.

この度、奨励賞をいただき大変光栄に存じます。ありがとうございました。

荒川区には様々な工場がたくさんあり、素晴らしい技術者が多くいらっしゃいますが、技術が特許で守られていないために、その多くが大手や外国に模倣されるのを目の当たりにしてきました。個人や小さな企業にとって技術を特許にするのは大きな負担となるからです。そこで、低負担で技術を特許化して活用するビジネスモデルにより、技術を守り荒川区のモノづくり産業を発展させたいと考えております。

受賞者：互 隆介
カフェ塾テラコヤ



経済的に苦しい状況にあるけれど、夢を叶える為に大学受験にチャレンジしたい！」そんな高校生を応援すべく、定休日のカフェや企業のオフィスをお借りし、無償の大学受験指導を行う取組みを広げています。今、この国で難関大学に入る為に中学受験（一般的に世帯収入1,000万円が必要と言われています）が必須となってきており、お金が無ければ夢を叶えるスタートラインに立つことが出来なくなっている状況になってきています。現在は他区で活動しておりますが、この取組みを多くの地域に広げることによって日本の教育課題を解決すべく、ご提案させて頂きました。



Dr. Yoon-Ho Cho is a professor in the Department of Health, Behavior, and Society at the Johns Hopkins University. He has a PhD in Epidemiology from the Johns Hopkins University and a Master of Public Health from the University of Michigan. He is currently a senior advisor at the Center for Communications Programs at the Johns Hopkins University. He has been a faculty member at the Johns Hopkins University since 1995. He has been a senior advisor at the Center for Communications Programs since 2005. He has been a senior advisor at the Center for Communications Programs since 2005. He has been a senior advisor at the Center for Communications Programs since 2005.

社会人・学生を問わず、多くの若者(全員20代!)に関わって頂き、この活動を行っています。
「少子高齢化」「経済の衰退」といった暗いワードが飛び交いがちな現代ですが、この取組みを通じて「お金なんかよりもこの国の課題を何とかしたい」というアツい気持ちを持った若い人が沢山いることに、私自身がとても驚きました。そのような若者の模範となり、そしてこの国を変える原動力となれるように、これからも全力を尽くしていきたいと思っています。そんな私たちを、温かい目で見守って頂けたら幸いです。

受賞者：三ツ木 直樹
株式会社シーキューブ



多世代交流の場である銭湯に近接した場所に、多世代の交流を活性化させるサロンをつくる。サロンではコミュニティオーガナイザーを育成し、地域に暮らす人々の多様性を受容しながら、様々な地域課題を地域で解決していく事業を行うコミュニティを創っていく。

シーズのテーマは「食－高齢者向けお弁当」「住－テーマを共有したシェアハウス」「業－介護事業」。地域の社会課題に取り組む活動をされている方々と連携しながら、子育て、高齢化、若者世代の就労などを解決の方向についていける町づくりのプラットフォームを作る。



令和4年度に一件目のサロンとして空き家を活用したサロンの開設を進めています。サロンはアートスペースとしても活用できるデザインとし、衛生・感染防止に配慮しつつオープンなキッチンを併設します。例えばお母さんにお子さんから目を離さずお弁当作りのお仕事をいただける。そんな、事業を通じて全世代が関わっていけるスペース作りを行います。シェアハウスではテーマを共有できる住人が自分たちで企画してコミュニティを創っていく。各団体、行政の各部署に様々なアイデア・ご支援をいただきながら社会課題に取り組みコミュニティを実現していきたいと思っております。

特別審査委員長
株式会社三菱総合研究所理事長
元東京大学総長

受賞された皆様 おめでとうございます。日本は、地球温暖化による災害の巨大化、少子化、超高齢社会、地域の衰退など、課題を先進的に抱える「課題先進国」です。特に近年、生き方や価値観の多様化によって解決すべき課題は増え続けています。そうした世界に先駆ける課題を自ら解決し、人類の未来を先導する「課題解決先進国」となることが私たちに自身の幸せへの道であり、日本の使命ともいえるでしょう。今回受賞されたビジネスプランは、新たな課題にも取り組まれており、地球環境と人間社会が共存し、持続可能な社会を形成するうえで極めて重要な取組となるでしょう。まちのつながりやや経済の成長、長を認め合う基盤の形成が今後、地域社会、ひいては日本経済の土俵となっていくものと私は確信しています。

受賞された皆様におかれましては、多様な地域課題の解決に向けて積極的にチャレンジされ、地域のフロンタランナーとなって御活躍されますことを期待しております。

審査委員長
中央学院大学大学院特任教授

荒川区ビジネスプランコンテストは、地域課題の解決や荒川区内の地域産業活性化につながるビジネスプランを募集・審査するコンテストで、今回が5回目になります。回を重ねるごとにプランの内容も充実し、プレゼンテーションも向上してきていることを実感いたします。このコンテストの趣旨を考えれば、報告の内容を単なる机上の空論に終わらせることなく、実際に事業展開につなげてゆくことが肝要です。その意味で、今後皆様の事業展開の在り方に非常に関心を持っています。前回までの受賞者の方々も自らのビジネスプランの実践に熱心に取り組んでおられます。今後の展開として、受賞者間での相互啓発の場を設けることも有意義であると思います。今後、事務局もこのような展開について検討してみたいと思います。

荒川区長
西川 太一郎

荒川区では、区内に豊かな地域資源や歴史ある産業集積を生かしつつ、地域に根ざす新産業の創出を支援し、区内産業の活性化を図ることを目指しています。そこで、区内外からの地域資源を活性化するビジネスプランを募ります。荒川区ビジネスプランコンテスト2021は、将来有望なプランを発掘するとともに、これから区内での起業や事業展開を目指す方々の成長を応援することを目的とした事業です。

創業予定者又は創業後概ね5年以内の個人、法人、団体
新分野進出や新規事業展開（以下「新分野進出等」）を予定している
個人、法人、団体、又は新分野進出等の後概ね5年以内の個人、法人、団体

- (1) 将来的に区内での創業・新分野進出や新事業展開を想定するものを歓迎する。
- (2) 業種や事業分野は問わないが、区の地域資源(モノづくり産業、伝統工芸等)の活用や地域課題の解決が期待でき、広く波及効果の見込めるものであること。※なお、区の基本構想で掲げる「子育て」や「健康」の支援、「安全安心」や「地域のにぎわい」の創出等に寄与するプラン、日暮里繊維街の活性化に寄与するようなプランを歓迎する。
- (3) 社会貢献性、革新性、事業性があり、継続的な事業運営が期待できるものであること。
- (4) 公序良俗に反せず、社会通念上、適切と認められるものであること。
- (5) 他のビジネスプランコンテスト等において未受賞(最優秀賞以外は可)であること。

- ・最優秀賞（賞金30万円）1件
- ・優秀賞（賞金20万円）1件
- ・東京商工会議所荒川支部会長賞（賞金15万円）1件
- ・城北信用金庫賞（賞金15万円）1件
- ・奨励賞（賞金5万円）5件
- ・オーディエンス賞 1件

●応募期間：令和3年6月7日から8月13日

■応募件数：31件

●審査委員会

●特別審査委員長

小宮山 宏 氏（株式会社三菱総合研究所理事長、元東京大学総長）

●審査委員長

松本 芳男 氏（中央学院大学大学院特任教授）

●審査員

幸物 正晃 氏（経済産業省関東経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長）

安部 隆久 氏（独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部 副本部長）

渡辺 紀子 氏（東京商工会議所 荒川支部 事務局長）

寺田 直樹 氏（城北信用金庫 理事）

鈴木 武 氏（荒川区しんきん協議会）

堤 香苗 氏（株式会社キャリア・ママ 代表取締役）

石原 久 氏（荒川区産業経済部長）

●選考方法

一次審査：書類選考

最終審査：プレゼンテーション選考

■審査基準

社会貢献性・革新性・事業性・継続性

■ファイナルイベント：令和3年(2021年) 11月20日

ホテルラングウッド5階ルーチェ

ビジネスマン発表・表彰式、名刺交換会開催

荒川区産業経済部経営支援課産業活性化係
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3
TEL: 03(3802)3111(内線458)
FAX: 03(3803)2333
URL: <https://www.city.arakawa.tokyo.jp/>

Arakawaku
Businessplan
Contest 2021



受賞プラン決定！

地域課題の解決や荒川区内の地域産業の活性化につながる
ビジネスプランを募集し、受賞プランが決定しました。

日暮里クリエイティブタウン創出事業
鈴木 あづさ (Atashirashiku)

つながる子育てカフェ@Arakawa
黒岩 舞（有限会社キッズガーデン）

東京商工会議所
荒川支部会長賞

荒川区発世界へ、
ミドル世代への
究極ニットジャケットD2C
市勢 善浩
(フェイバニッツ合同会社)

城北信用金庫賞

企業向け妊活・不妊治療
福利厚生サポート事業
川口 優太郎
(リプロダクティブサポートファーム東京)

地域密着！あなたの元に旅行をお届けします
星 直人（旅行をテイクアウト！スタートラベル）

発明★特許であらかわモノづくり文化を活性化
石永 博之（A-Labo あらかわモノづくりラボ）

地域の多様性を銭湯バレットで新しい絵に
三ツ木 直樹（株式会社シーキューブ）

食で心も体も豊かに！持続可能な食育活動！
上原 好 (D's Kitchen)

荒川区500人の高校生の大学受験を応援
互 隆介 (カフェ塾テラコヤ)

○主催：荒川区　　○協賛：東京商工会議所荒川支部、城北信用金庫
○後援：経済産業省関東経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部、公益財団法人東京都中小企業振興公社
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター、株式会社日本政策金融公庫上野支店・千住支店、国立大学法人山形大学工学部
東京都立大学法人東京都立大学、学校法人東京電機大学産官学交流センター、学校法人東洋大学、朝日信用金庫、巢鴨信用金庫
瀧野川信用金庫、東京東信信用金庫、荒川区工業団体連合会、一般社団法人荒川区中小企業経営協会